

小林市 道路法面・構造物長寿命化修繕計画  
(切土法面、盛土法面、擁壁工)

平成 30 年 8 月

(令和 8 年 3 月改訂)

小林市 建設課

## 目 次

1. 背景と目的	1
2. 管理の現状	2
3. 基本方針	4
4. 具体的な取り組み	5
5. 施設毎での修繕計画	9
END	11

## 1. 背景と目的

### 背景

小林市が管理する市道の総延長は約 180km あり、橋梁やトンネル、舗装、法面や擁壁など多くの道路施設が**建設から数十年が経過しており、今後急速に老朽化していく**ことで、以下のようなことが懸念されます。

- ① 崩壊や重大事故の発生による**人命の危険**
- ② 通行止めといった交通規制による**市民生活や利用者への影響**および**社会的な損失**
- ③ 大規模修繕や更新による**膨大な財政支出**

これら社会インフラの維持管理は、**事後保全型による手法**でこれまで行われてきましたが、今後膨大な量の施設が急速に老朽化する中で、本手法による計画的な維持管理が困難であることから、**新たに予防保全型による手法**を取り入れることが求められています。

表 1-1 維持管理の手法

手法	内 容	運用に関する特徴
事後保全型	損傷が進展し、 <u>顕在化または重症化した状態</u> で、対症的に対策を行って維持管理していく手法。	損傷を発見し易いため、高度な点検・診断技術や労力を必要としない。
予防保全型	<u>損傷が軽微な状態（重症化する前）</u> のうちに、適切な対策を行って維持管理していく手法。	体系的な点検・診断および修繕計画が必要となる。

### 目的

小林市が管理する道路法面・構造物について、以下のような目的を達成するため、**予防保全型の手法を取り入れた長寿命化修繕計画**の策定・運用を行ってまいります。

1. 管理市道の長寿命化による**安全・安心の確保**
2. 道路法面・構造物に関わる維持修繕費の**ライフサイクルコスト (LCC) の縮減**
3. **予算の平準化**による市財政の健全化

## 2. 管理の現状

### 2-1 管理対象施設

本計画は市道における**切土法面**、**盛土法面**、**擁壁工**を対象としており、小林市が管理する39路線（小林地区14線、須木地区6路線、野尻地区19路線）、**152箇所**の**道路施設**が該当します。

表 2-1 対象施設一覧表

地区	道路区分	【路線番号】市道路線名	施設種別（箇所）			計	備考	
			切土法面	盛土法面	擁壁工			
小林	1級市道	【1】二原・下津佐線	1			1		
		【3】城ヶ迫1号線	1			1		
		【9】麩木・生駒線	1			1		
	2級市道	【75】木切倉・瀬ノ口線	1			1		
		【86】瀬ノ口・風呂本線	1		5	6		
		【126】下津佐・小原線	3		3	6		
		【127】下津佐・山代線	9		5	14		
		【116】ひばり野・杉菌線			1	1		
	その他市道	【124】年神・北二原線			1	1		
		【130】栗須野・城ヶ迫線	1		2	3		
		【416】八幡原・川無線			1	1		
		【563】橋満・九々瀬峠線	14			14		
		【628】長者1号線	1			1		
須木	1級市道	【2001】夏木・九々瀬線	8		1	9		
		【2002】永田・多古羅線	2			2		
	2級市道	【2052】坂の下・軍谷線			1	1		
		【2056】内山・楠谷線	6	1	2	9		
	その他市道	【2103】永田・高野谷線	2			2		
		【2107】永田・奈佐木線	2			2		
	野尻	1級市道	【3001】新町・沖ノ尾線	1	2	2	5	
			【3002】新町・秋社線	1			1	
			【3005】東麓・石瀬戸線		1	2	3	
			【3006】岩瀬橋線	1			1	
【3007】内馬場・牟田原線			1	2	2	5		
【3011】烏帽子・釘松線				4	5	9		
【3013】大沢津・瀬戸ノ口線					5	5		
2級市道		【3056】今別府・八久保線			2	2		
		【3057】松山・境別府線			1	1		
		【3058】大王・鶴戸原線			2	2		
		【3062】釘松・佐土瀬線			3	3		
		【3063】野々崎・西原線			2	2		
		【3065】猿瀬・岩瀬口線	4	1	9	14		
その他市道	【3066】陣原・牟田原線	1	2	7	10			
	【3255】石瀬戸・大平山線	1		3	4			
	【3121】立神・星柳線	1			1			
	【3124】今別府・池ノ尾線	1		1	2			
合計			67	17	68	152		



写真 2-1 夏木・九々瀬線「切土法面」



写真 2-2 烏帽子・釘松線「擁壁工」

## 2-2 道路施設の損傷状況

各施設の代表的な損傷状況写真を以下に示します。

<b>切土法面</b>	<b>【75】 2級市道 木切倉・瀬ノ口線：施設番号1002B001 判定区分：Ⅱb</b>
全 景	
	
所見： <b>落石</b> は剥離性のものが大半を占めるものと思われる。またかなりの湧水が確認できる。	

<b>盛土法面</b>	<b>【3125】 その他市道 池ノ尾・大平線：施設番号3016F003 判定区分：Ⅲb</b>
全 景	路面状況
	
所見：本道路は、山間地斜面部に切盛によって作られた道路で、 <b>盛土側が沈下</b> シクラック等が生じたと考えられる。	

<b>擁壁工</b>	<b>【3056】 2級市道 今別府・八久保線：施設番号3007G002 判定区分：Ⅱb</b>
全 景	壁面状況
	
所見：偏土圧による <b>山留ブロック積の変状</b> 及び <b>ブロック積前面側溝のひびわれ、破損</b> が見られる。これは上部自然斜面での滑落及びすべり等が原因と思われる。 今後の対応：上部自然斜面の切り取りを行い、厚層基材吹付で法面を保護することが望まれる。軽量法枠など	

### 3. 基本方針

管理市道の道路施設（切土法面、盛土法面、擁壁工）について、下記の基本方針に基づく計画的な維持管理を行うことで、**道路利用者の安全・安心**を確保してまいります。

#### 基本方針

##### 1. 予防保全型の維持管理

**定期的な点検**の実施によって、損傷が軽微な状態のうちに発見し修繕を行う（予防保全型の維持管理）ことで、道路法面・構造物の長寿命化を図る。

##### 2. 修繕対策の優先順位

道路法面・構造物の損傷状況や社会的影響度による優先順位を設定し、**効率的な維持管理および修繕対策**を行う。

##### 3. ライフサイクルコスト(LCC)の縮減および予算の平準化

予防保全型の維持管理を導入することで**ライフサイクルコスト(LCC)の縮減**を図り、**長期的な予算の平準化**を図る。

また、長寿命化修繕計画は、今後長期間での運用・改善を図っていくことが重要となることから、**長寿命化修繕計画 PDCA サイクル**を確実に実行してまいります。

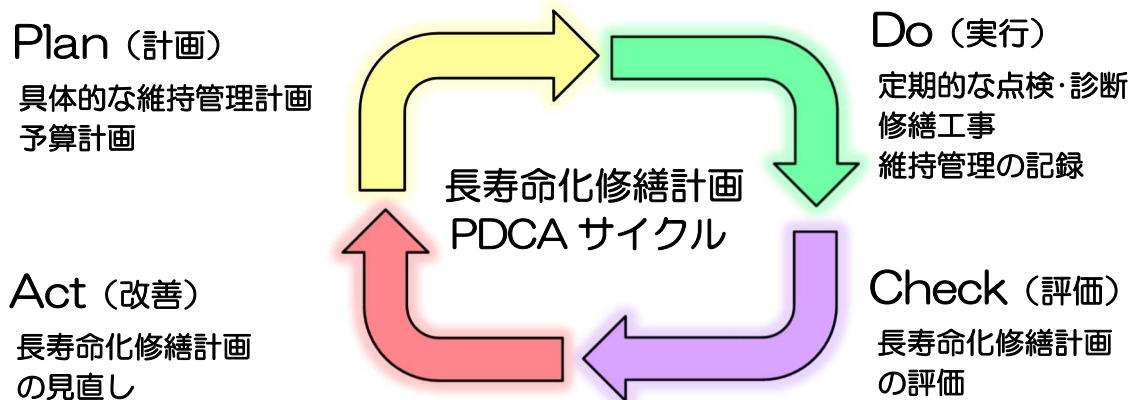


図 3-1 PDCA サイクルのしくみ

## 4. 具体的な取り組み

### 4-1 点検方法

道路施設を適切に維持管理し長持ちさせていくためには、定期的に点検を行い、道路施設に損傷が生じていないかを把握しておくことが不可欠であります。

道路施設についての点検は、その頻度や手法に応じて、道路パトロールによる**日常点検**から5年に1度の近接目視による**定期点検**といった様々な方法によって実施してまいります。

表 4-1 道路施設点検の手法

点検方法	頻度	手法	具体的内容
日常点検	日常的	パトロール	日常的な道路パトロールの中で、道路施設の異常や損傷が生じていないか目視によって点検する。
簡易点検	定期的 <b>(1年に1度)</b>	遠望目視	市職員が道路上からの目視または双眼鏡により、道路施設の損傷状況を点検する。
定期点検	定期的 <b>(5年に1度)</b>	近接目視	梯子等を用いた近接目視やハンマーによる打音によって、道路施設のひび割れや変状等の点検を行い、 <u>その損傷状態を数値化して評価する</u> 。
緊急点検	臨時的	近接目視 遠望目視	地震や台風などの災害や大きな事故が発生した場合に、必要に応じて道路の安全性を点検する。

#### 4-2 管理施設のグループ化

管理市道の道路施設（切土法面、盛土法面、擁壁工）は全 151 箇所と膨大な量であることから、全てを一律の水準で管理していくことは効率的ではありません。

そのため、維持管理方針や修繕対策工法を決定するにあたって、まずは全ての管理施設を施設種別および工種毎で 5 種類のグループに分類します。

その中でも、グループ 2 の切土法面については、従来の**事後保全型(対処療法)**の維持管理から、新たな**予防保全型の維持管理**または**更新(再構築)**といった対応が考えられることから、計画期間 50 年におけるライフサイクルコスト(LCC)を比較し、維持管理方法を選定しております。

表 4-2 管理施設のグループ化

管理目的	グループ	施設種別	工種
道路防災保全の観点 からの保全計画（自然）	グループ 1	切土法面	岩石崩壊、落石崩壊
	グループ 2	切土法面	コンクリート吹付、モルタル吹付、法枠吹付
道路施設長寿命化の観点 からの維持管理計画 (人工構造物)	グループ 3	切土法面	法枠工、落石防護工、ラス張り、植栽ブロック
	グループ 4	盛土法面	盛土工
	グループ 5	擁壁工	石積、コンクリート擁壁、ブロック積擁壁、井桁擁壁、混合擁壁

ライフサイクルコスト(LCC)  
による維持管理方法の選定

【グループ2】全体 LCC

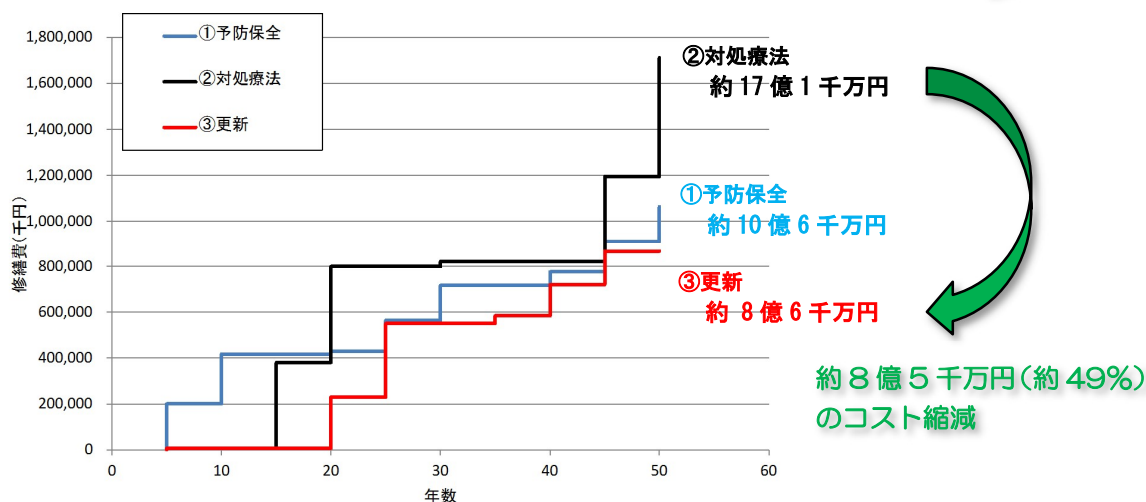


図 4-1 グループ 2 : ライフサイクルコスト(LCC)による維持管理方法の選定結果

### 4-3 修繕対策工法

グループ1~5それぞれの主な修繕対策工法(抜粋)を以下に示しており、今後、道路施設の損傷状況や優先順位に応じて修繕対策を実施してまいります。

#### グループ1 (岩石崩壊・落石崩壊)

法砕工



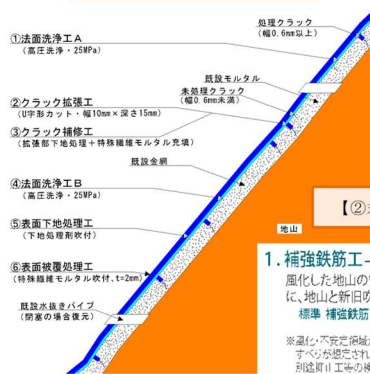
ポケット式落石防護網工



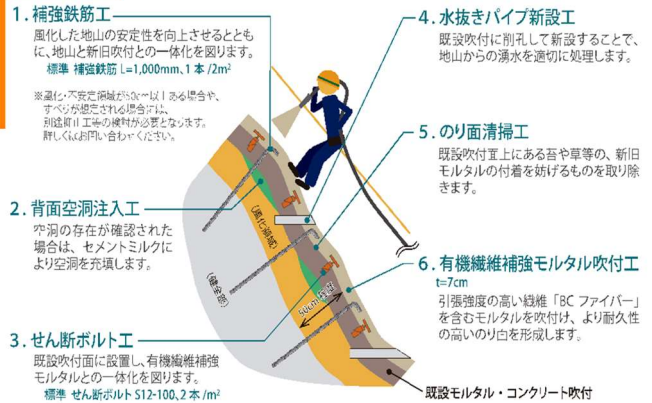
#### グループ2 (コンクリート吹付、モルタル吹付、法砕吹付)

対策工法イメージ図

【①予防保全】：表面被覆工



【②対処療法】：鉄筋挿工+裏込め注入工+ 繊維補強モルタル吹付

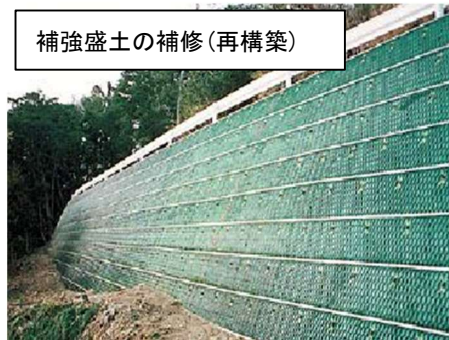


#### グループ3~5 (その他の切土法面、盛土工、擁壁工)

ブロック積補強工



補強盛土の補修(再構築)



#### 4-4 修繕対策の優先順位

今後、全ての道路施設について、維持管理および修繕対策を実施していくにあたっては、各施設の**損傷状況**に**社会的影響度**を加えた評価点をもとに、修繕対策の優先順位を設定しております。

表 4-3 重要度評価判定表

評価項目		評価点								
損傷状況	判定区分 (健全性)	I a	I b	I c	II a	II b	III a	III b	III c	
		0	5	10	15	20	30	35	40	
+ 社会的 影響度	建設後経過年数	20年以内		0	21～40年		5	41年以上		10
	構造物特性： 若年損傷	20年以内判定で 判定区分Ⅱ未済		0	20年以内で 判定区分Ⅱ以上		5	20年以内で 判定区分Ⅲ以上		10
	路線重要度： 交通量	10台/h以下		0	10～100台/h		5	100台/h以上 緊急避難路		10
	工事難易度： 施工時交通	片側通行可 迂回可能		0	通行止 迂回路あり		5	迂回路なし JR・高速道		10
	第三者被害： 被害施設	路側		0	道路・住宅		5	JR・高速道		10
	通学路指定	無			0	指定			10	
	管理者判断	任意								
最高点(管理者判断は除く)									100	

評価点

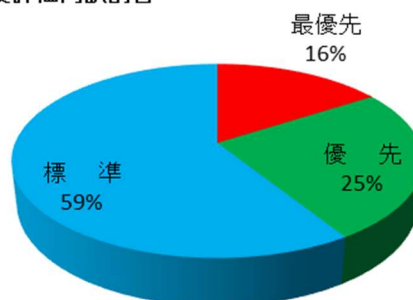
表 4-4 優先度評価表

評価点	優先度評価	修繕時期
50点以上	最優先	概ね10年以内に補修・補強
40～49点	優先	概ね10～20年以内に補修・補強
39点以下	標準	概ね20年以降に補修・補強

現時点での優先度評価の内訳

優先度評価	施設数
最優先	25
優先	38
標準	89
計	152

優先度評価内訳割合



全 152 施設のうち 25 施設は  
**概ね 10 年以内に補修・補強が  
必要**となります。

## 5. 施設毎での修繕計画

### 5-1 点検結果および優先度評価一覧表

各施設の点検結果および優先度評価は下表の通りです。

点検結果および優先度評価一覧表【小林地区】

番号	道路区分	【番号】 路線名	施設管理番号	施設		点検実施年度	施設の重要性(39以下:標準、40~49:優先、50以上:最優先)										優先度評価	備考
							点検結果		建設後経年数	構造物特性 若年損傷	路線重要度 交通量	工事難易度 施工時交通	第三者被害 被害施設	通学路および管理者判断	重要度			
							判定区分 (健全性)	評価点										
1	1級	【1】二原・下津佐線	1010A001	切土のり面	その他(落石崩壊)	2014.1	I <b>b</b>	20	5	0	5	0	5	15	50	最優先	R3対策完了	
2	1級	【1】二原・下津佐線	1010A002	切土のり面	その他(落石崩壊)	2014.1	I <b>b</b>	20	5	0	5	0	5	15	50	最優先		
3	1級	【3】城ヶ迫1号線	1012A001	切土のり面	その他(落石崩壊)	2017.1	I <b>b</b>	20	10	0	10	0	5	10	55	最優先	対策中	
4	1級	【9】森木・生駒線	1001A001	切土のり面	その他(落石崩壊)	2013.11	I <b>c</b>	10	10	0	0	10	0	0	30	標準		
5	2級	【75】木切倉・瀬ノ口線	1002B001	切土のり面	その他(岩石崩壊)	2013.11	I <b>b</b>	20	10	0	0	0	0	0	30	標準		
6	2級	【86】瀬ノ口・風呂本線	1003A001	切土のり面	その他(落石崩壊)	2013.11	I <b>b</b>	20	10	0	5	5	5	0	45	優先		
7	#	//	1003G001	擁壁工	ブロック積擁壁工	2013.11	I <b>a</b>	0	5	0	5	5	5	0	20	標準		
8	#	//	1003G002	擁壁工	混合擁壁工	2013.11	I <b>a</b>	0	5	0	5	5	5	0	20	標準		
9	#	//	1003G003	擁壁工	混合擁壁工	2013.11	I <b>a</b>	15	5	0	5	0	5	10	40	優先		
10	#	//	1003G004	擁壁工	ブロック積擁壁工	2013.11	I <b>a</b>	0	5	0	5	0	5	10	25	標準		
11	#	//	1003G005	擁壁工	混合擁壁工	2013.11	I <b>a</b>	0	5	0	5	0	5	10	25	標準		
12	その他	【116】鷺野・杉園線	1004G001	擁壁工	混合擁壁工	2013.11	I <b>c</b>	10	5	0	5	5	5	0	30	標準		
13	その他	【124】年神・北二原線	1005G001	擁壁工	井桁擁壁工	2013.11	I <b>a</b>	0	5	0	5	5	5	0	20	標準		
14	その他	【126】下津佐・小原線	1006A001	切土のり面	その他(落石崩壊)	2013.11	I <b>b</b>	20	10	0	5	5	5	10	55	最優先		
15	#	//	1006A002	切土のり面	その他(落石崩壊)	2013.11	I <b>a</b>	15	10	0	5	5	5	10	50	最優先		
16	#	//	1006A003	切土のり面	その他(落石崩壊)	2013.11	I <b>b</b>	20	10	0	5	5	5	10	55	最優先		
17	#	//	1006G001	擁壁工	混合擁壁工	2013.11	I <b>a</b>	0	5	0	5	5	5	10	30	標準		
18	#	//	1006G002	擁壁工	混合擁壁工	2013.11	I <b>a</b>	0	5	0	5	5	5	10	30	標準		
19	#	//	1006G003	擁壁工	ブロック積擁壁工	2013.11	I <b>c</b>	10	5	0	5	5	5	10	40	優先		
20	その他	【127】下津佐・山代線	1007A001	切土のり面	その他(落石崩壊)	2013.11	I <b>b</b>	20	10	0	0	5	5	0	40	優先		
21	#	//	1007A002	切土のり面	その他(落石崩壊)	2013.11	I <b>b</b>	20	10	0	0	5	5	0	40	優先		
22	#	//	1007A003	切土のり面	その他(落石崩壊)	2013.11	I <b>b</b>	20	10	0	0	5	5	0	40	優先		
23	#	//	1007A004	切土のり面	その他(落石崩壊)	2013.11	I <b>b</b>	20	10	0	0	5	5	0	40	優先		
24	#	//	1007A005	切土のり面	その他(落石崩壊)	2013.11	I <b>b</b>	20	10	0	0	5	5	0	40	優先		
25	#	//	1007A006	切土のり面	その他(落石崩壊)	2013.11	I <b>b</b>	20	10	0	0	5	5	0	40	優先		
26	#	//	1007A007	切土のり面	その他(落石崩壊)	2013.11	I <b>b</b>	20	10	0	0	5	5	0	40	優先		
27	#	//	1007A008	切土のり面	その他(落石崩壊)	2013.11	I <b>a</b>	15	10	0	0	5	5	0	35	標準		
28	#	//	1007B001	切土のり面	その他(岩石崩壊)	2013.11	I <b>b</b>	20	10	0	0	5	5	0	40	優先		
29	#	//	1007G001	擁壁工	ブロック積擁壁工	2013.11	I <b>a</b>	0	5	0	0	5	5	0	15	標準		
30	#	//	1007G002	擁壁工	混合擁壁工	2013.11	I <b>a</b>	0	5	0	0	5	5	0	15	標準		
31	#	//	1007G003	擁壁工	ブロック積擁壁工	2013.11	I <b>a</b>	0	5	0	0	5	5	0	15	標準		
32	#	//	1007G004	擁壁工	ブロック積擁壁工	2013.11	I <b>a</b>	0	5	0	0	5	5	0	15	標準		
33	#	//	1007G005	擁壁工	ブロック積擁壁工	2013.11	I <b>c</b>	10	5	0	0	5	5	0	25	標準		
34	その他	【130】栗栗野・城ヶ迫線	1008B001	切土のり面	その他(岩石崩壊)	2013.11	I <b>b</b>	20	10	0	0	5	5	0	40	優先		
35	#	//	1008G001	擁壁工	ブロック積擁壁工	2013.11	I <b>a</b>	0	5	0	0	5	5	0	15	標準		
36	#	//	1008G002	擁壁工	井桁擁壁工	2013.11	I <b>a</b>	0	5	0	0	5	5	0	15	標準		
37	その他	【563】橋満・九ヶ瀬峠線	1011A001	切土のり面	その他(落石崩壊)	2014.1	I <b>b</b>	20	0	5	10	0	5	10	50	最優先		
38	#	//	1011A002	切土のり面	その他(落石崩壊)	2014.1	I <b>b</b>	20	0	5	10	0	5	0	40	優先		
39	#	//	1011A003	切土のり面	その他(落石崩壊)	2014.1	I <b>b</b>	20	0	5	10	0	5	0	40	優先		
40	#	//	1011A004	切土のり面	その他(落石崩壊)	2014.1	I <b>b</b>	20	0	5	10	0	5	0	40	優先		
41	#	//	1011A005	切土のり面	その他(落石崩壊)	2014.1	I <b>b</b>	20	0	5	10	0	5	10	50	最優先		
42	#	//	1011A006	切土のり面	その他(落石崩壊)	2014.1	I <b>b</b>	20	0	5	10	0	5	0	40	優先		
43	#	//	1011A007	切土のり面	その他(落石崩壊)	2014.1	I <b>b</b>	20	0	5	10	0	5	10	50	最優先		
44	#	//	1011A008	切土のり面	その他(落石崩壊)	2014.1	I <b>b</b>	20	0	5	10	0	5	10	50	最優先		
45	#	//	1011A009	切土のり面	その他(落石崩壊)	2014.1	I <b>b</b>	20	0	5	10	0	5	0	40	優先		
46	#	//	1011A010	切土のり面	その他(落石崩壊)	2014.1	I <b>b</b>	20	0	5	10	0	5	0	40	優先		
47	#	//	1011A011	切土のり面	その他(落石崩壊)	2014.1	I <b>b</b>	20	0	5	10	0	5	10	50	最優先	対策中	
48	#	//	1011A012	切土のり面	その他(落石崩壊)	2014.1	I <b>b</b>	20	0	5	10	0	5	10	50	最優先	対策中	
49	#	//	1011A013	切土のり面	その他(落石崩壊)	2014.1	I <b>b</b>	20	0	5	10	0	5	10	50	最優先	対策中	
50	#	//	1011A014	切土のり面	その他(落石崩壊)	2014.1	I <b>b</b>	20	0	5	10	0	5	10	50	最優先	対策中	
51	#	//	1011A015	切土のり面	その他(落石崩壊)	2014.1	I <b>b</b>	20	0	5	10	0	5	10	50	最優先		
52	その他	【628】長者1号線	1013A001	切土のり面	その他(落石崩壊)	2017.1	I <b>b</b>	20	10	0	5	5	5	10	55	最優先	R3対策完了	
53	その他	【1098】池ノ上・上園線	1009B001	切土のり面	その他(岩石崩壊)	2013.11	I <b>a</b>	15	10	0	0	5	5	0	35	標準		
54	その他	【416】八幡原・川無線	1009G001	擁壁工	ブロック積擁壁工	2023.12	I <b>b</b>	20	10	0	10	5	5	5	55	最優先	対策中	

点検結果および優先度評価一覧表【須木地区】

番号	道路区分	【番号】路線名	施設管理番号	施設		点検実施年度	施設の重要性(39以下:標準、40~49:優先、50以上:最優先)										優先度評価	備考
							点検結果		建設後経年数	構造物特性 若年損傷	路線重要度 交通量	工事難易度 施工時交通	第三者被害 被害施設	通学路および管理者判断	重要度			
							判定区分 (健全性)	評価点										
55	1級	【2001】夏木・丸尾線	2001A001	切土のり面	コンクリート吹付工	2013.11	Ic	10	5	0	5	0	5	10	35	標準		
56	〃	〃	2001A002	切土のり面	吹付工・ロックネット工	2013.11	Ib	20	5	0	5	0	5	10	45	優先		
57	〃	〃	2001A003	切土のり面	コンクリート吹付工	2013.11	Ic	10	5	0	5	0	5	10	35	標準		
58	〃	〃	2001A004	切土のり面	コンクリート吹付工	2013.11	Ic	10	5	0	5	0	5	10	35	標準		
59	〃	〃	2001A005	切土のり面	コンクリート吹付工	2013.11	Ic	10	5	0	5	0	5	10	35	標準		
60	〃	〃	2001A006	切土のり面	コンクリート吹付工	2013.11	Ic	10	5	0	5	0	5	10	35	標準		
61	〃	〃	2001A007	切土のり面	その他(落石崩壊)	2013.11	Ib	20	10	0	5	5	5	0	45	優先		
62	〃	〃	2001A008	切土のり面	モルタル吹付工	2015.3	Ia	0	0	0	5	5	5	0	15	標準		
63	〃	〃	2001G001	擁壁工	混合擁壁工	2013.11	Ic	10	5	0	5	5	5	0	30	標準		
64	1級	【2002】永田・多古線	2002A001	切土のり面	コンクリート吹付工	2013.11	Ic	10	5	0	5	0	5	10	35	標準		
65	〃	〃	2002A002	切土のり面	コンクリート吹付工	2013.11	Ib	20	5	0	5	0	5	0	35	標準		
66	2級	【2052】坂の下・軍谷線	2003G001	擁壁工	混合擁壁工	2013.11	Ia	15	5	0	5	5	5	10	45	優先		
67	2級	【2056】内山・楠谷線	2004A001	切土のり面	コンクリート吹付工	2013.11	Ic	10	5	0	5	5	5	0	30	標準		
68	〃	〃	2004A002	切土のり面	その他(落石崩壊)	2013.11	Ic	10	10	0	5	5	5	0	35	標準		
69	〃	〃	2004A003	切土のり面	その他(落石崩壊)	2013.11	Ib	20	10	0	5	5	5	0	45	優先		
70	〃	〃	2004A004	切土のり面	その他(落石崩壊)	2013.11	Ic	10	10	0	5	5	5	0	35	標準		
71	〃	〃	2004A005	切土のり面	その他(落石崩壊)	2013.11	Ib	20	10	0	5	5	5	0	45	優先		
72	〃	〃	2004A006	切土のり面	その他(落石崩壊)	2013.11	Ib	20	10	0	5	5	5	0	45	優先		
73	〃	〃	2004F001	盛土のり面	盛土工	2013.11	Ia	30	5	0	5	5	5	0	50	最優先		
74	〃	〃	2004G001	擁壁工	ブロック擁壁工	2013.11	Ic	10	5	0	5	5	5	0	30	標準		
75	〃	〃	2004G002	擁壁工	石積工	2013.11	Ia	15	10	0	5	5	5	0	40	優先		
76	その他	【2103】永田・高野谷線	2005A001	切土のり面	コンクリート吹付工	2013.11	Ic	10	5	0	5	0	5	0	25	標準		
77	〃	〃	2005A002	切土のり面	その他(落石崩壊)	2013.11	Ib	20	10	0	0	5	5	0	40	優先		
78	その他	【2107】永田・京佐木線	2006A001	切土のり面	その他(落石崩壊)	2013.11	Ib	20	10	0	5	5	5	0	45	優先		
79	〃	〃	2006A002	切土のり面	その他(落石崩壊)	2013.11	Ib	20	10	0	5	5	5	0	45	優先		

点検結果および優先度評価一覧表【野尻地区】

番号	道路区分	【番号】路線名	施設管理番号	施設		点検実施年度	施設の重要性(39以下:標準、40~49:優先、50以上:最優先)										優先度評価	備考
							点検結果		建設後経年数	構造物特性 若年損傷	路線重要度 交通量	工事難易度 施工時交通	第三者被害 被害施設	通学路および管理者判断	重要度			
							判定区分 (健全性)	評価点										
80	1級	【3001】新町・沖ノ尾線	3001A001	切土のり面	モルタル吹付工	2013.11	Ib	20	5	0	5	0	5	0	35	標準		
81	〃	〃	3001F001	盛土のり面	盛土工	2013.11	Ia	15	5	0	5	0	5	10	40	優先		
82	〃	〃	3001F002	盛土のり面	盛土工	2013.11	Ib	5	5	0	5	0	5	10	30	標準		
83	〃	〃	3001G001	擁壁工	ブロック擁壁工	2013.11	Ia	0	5	0	5	0	5	10	25	標準		
84	〃	〃	3001G002	擁壁工	ブロック擁壁工	2013.11	Ib	20	5	0	5	0	5	0	35	標準		
85	1級	【3002】新町・秋社線	3002A001	切土のり面	その他(増生ブロック)	2013.11	Ib	20	5	0	5	0	5	10	45	優先		
86	1級	【3005】東麓・石瀬戸線	3003F001	盛土のり面	盛土工	2013.11	Ic	10	5	0	5	0	5	0	25	標準		
87	〃	〃	3003G001	擁壁工	ブロック擁壁工	2013.11	Ic	10	5	0	5	0	5	0	25	標準		
88	〃	〃	3003G002	擁壁工	ブロック擁壁工	2013.11	Ic	10	5	0	5	0	5	0	25	標準		
89	1級	【3006】岩瀬橋線	3018A001	切土のり面	その他(落石崩壊)	2017.1	Ib	20	10	0	10	0	5	10	55	最優先	対策中	
90	1級	【3007】内馬場・牟田原線	3004A001	切土のり面	その他(ラス張り)	2013.11	Ia	15	5	0	5	0	5	0	30	標準		
91	〃	〃	3004F001	盛土のり面	盛土工	2013.11	Ic	10	5	0	5	0	5	0	25	標準		
92	〃	〃	3004F002	盛土のり面	盛土工	2013.11	Ia	30	5	0	5	0	5	0	45	優先		
93	〃	〃	3004G001	擁壁工	混合擁壁工	2013.11	Ib	5	5	0	5	0	5	0	20	標準		
94	〃	〃	3004G002	擁壁工	混合擁壁工	2013.11	Ib	20	5	0	5	0	5	0	35	標準		
95	1級	【3011】鹿帽子丘・釘松線	3005F001	盛土のり面	盛土工	2013.11	Ib	20	5	0	5	0	5	0	35	標準		
96	〃	〃	3005F002	盛土のり面	盛土工	2013.11	Ib	5	5	0	5	0	5	0	20	標準		
97	〃	〃	3005F003	盛土のり面	盛土工	2013.11	Ib	5	5	0	5	0	5	0	20	標準		
98	〃	〃	3005F004	盛土のり面	盛土工	2013.11	Ia	30	5	0	5	0	5	0	45	優先		
99	〃	〃	3005G001	擁壁工	混合擁壁工	2013.11	Ib	20	5	0	5	0	5	0	35	標準		
100	〃	〃	3005G002	擁壁工	ブロック擁壁工	2013.11	Ib	20	5	0	5	0	5	0	35	標準		
101	〃	〃	3005G003	擁壁工	ブロック擁壁工	2013.11	Ia	0	5	0	5	0	5	0	15	標準		
102	〃	〃	3005G004	擁壁工	ブロック擁壁工	2013.11	Ia	0	5	0	5	0	5	0	15	標準		
103	〃	〃	3005G005	擁壁工	ブロック擁壁工	2013.11	Ia	0	5	0	5	0	5	10	25	標準		
104	1級	【3013】大沢津・瀬戸ノ口線	3006G001	擁壁工	井桁擁壁工	2013.11	Ia	0	5	0	5	0	5	0	15	標準		
105	〃	〃	3006G002	擁壁工	コンクリート擁壁工	2013.11	Ib	20	5	0	5	0	5	0	35	標準		
106	〃	〃	3006G003	擁壁工	井桁擁壁工	2013.11	Ia	0	5	0	5	0	5	0	15	標準		
107	〃	〃	3006G004	擁壁工	ブロック擁壁工	2013.11	Ia	0	5	0	5	0	5	0	15	標準		
108	〃	〃	3006G005	擁壁工	混合擁壁工	2013.11	Ia	0	5	0	5	0	5	0	15	標準		

点検結果および優先度評価一覧表【野尻地区】

番号	道路区分	【番号】路線名	施設管理番号	施設		点検実施年度	施設の重要性(39以下:標準、40~49:優先、50以上:最優先)										優先度評価	備考	
							点検結果		建設後経年数	構造物特性	路線重要度	工事難易度	第三者被害	通学路および管理者判断	重要度				
							判定区分(健全性)	評価点											
109	2級	【3056】今別府・八久保線	3007G001	擁壁工	ブロック積擁壁工	2013.11	IIb	20	5	0	5	0	5	0	5	0	35	標準	
110	〃	〃	3007G002	擁壁工	ブロック積擁壁工	2013.11	IIb	20	5	0	5	0	5	0	5	0	35	標準	
111	2級	【3057】松山・境別府線	3008G001	擁壁工	混合擁壁工	2013.11	Ic	10	5	0	5	0	5	10	35	標準			
112	2級	【3058】大王・鶴戸原線	3009G001	擁壁工	ブロック積擁壁工	2013.11	IIb	20	5	0	5	0	5	0	35	標準			
113	〃	〃	3009G002	擁壁工	井桁擁壁工	2013.11	Ia	0	5	0	5	0	5	0	15	標準			
114	2級	【3062】釘松・佐土瀬線	3010G001	擁壁工	混合擁壁工	2013.11	Ic	10	5	0	5	5	5	0	30	標準			
115	〃	〃	3010G002	擁壁工	ブロック積擁壁工	2013.11	Ia	0	5	0	5	5	5	0	20	標準			
116	〃	〃	3010G003	擁壁工	混合擁壁工	2013.11	Ia	0	5	0	5	5	5	0	20	標準			
117	2級	【3063】野々崎・西原線	3011G001	擁壁工	ブロック積擁壁工	2013.11	IIb	20	5	0	5	5	5	10	50	最優先			
118	〃	〃	3011G002	擁壁工	コンクリート擁壁工	2013.11	Ic	10	5	0	5	5	5	0	30	標準			
119	2級	【3065】猿嶽・岩瀬口線	3012A001	切土のり面	その他(落石崩壊)	2013.11	IIa	15	5	0	5	0	5	0	30	標準			
120	〃	〃	3012A002	切土のり面	吹付工・のり枠工	2013.11	IIa	15	5	0	5	0	5	0	30	標準			
121	〃	〃	3012A003	切土のり面	その他(落石崩壊)	2013.11	IIb	20	10	0	5	5	5	5	50	最優先	R6対策完了		
122	〃	〃	3012A004	切土のり面	のり枠工	2013.11	IIa	15	5	0	5	5	5	0	35	標準			
123	〃	〃	3012F001	盛土のり面	盛土工	2013.11	IIIa	30	5	0	5	0	5	10	55	最優先			
124	〃	〃	3012G001	擁壁工	コンクリート擁壁工	2013.11	Ic	10	5	0	5	5	5	0	30	標準			
125	〃	〃	3012G002	擁壁工	混合擁壁工	2013.11	Ic	10	5	0	5	5	5	0	30	標準			
126	〃	〃	3012G003	擁壁工	コンクリート擁壁工	2013.11	IIb	20	5	0	5	5	5	0	40	優先			
127	〃	〃	3012G004	擁壁工	ブロック積擁壁工	2013.11	Ia	0	5	0	5	5	5	0	20	標準			
128	〃	〃	3012G005	擁壁工	ブロック積擁壁工	2013.11	Ic	10	5	0	5	5	5	0	30	標準			
129	〃	〃	3012G006	擁壁工	混合擁壁工	2013.11	Ia	0	5	0	5	5	5	0	20	標準			
130	〃	〃	3012G007	擁壁工	ブロック積擁壁工	2013.11	IIb	20	5	0	5	5	5	0	40	優先			
131	〃	〃	3012G008	擁壁工	ブロック積擁壁工	2013.11	Ia	0	5	0	5	5	5	0	20	標準			
132	〃	〃	3012G009	擁壁工	ブロック積擁壁工	2013.11	Ia	0	5	0	5	5	5	10	30	標準			
133	2級	【3066】陣原・幸田原線	3013A001	切土のり面	その他(落石崩壊)	2013.11	IIa	15	5	0	5	0	5	10	40	優先			
134	〃	〃	3013F001	盛土のり面	盛土工	2013.11	Ic	10	5	0	5	0	5	10	35	標準			
135	〃	〃	3013F002	盛土のり面	盛土工	2013.11	Ib	5	5	0	5	0	5	10	30	標準			
136	〃	〃	3013G001	擁壁工	ブロック積擁壁工	2013.11	IIb	20	5	0	5	0	5	10	45	優先			
137	〃	〃	3013G002	擁壁工	混合擁壁工	2013.11	Ia	0	5	0	5	5	5	10	30	標準			
138	〃	〃	3013G003	擁壁工	混合擁壁工	2013.11	Ia	0	5	0	5	5	5	10	30	標準			
139	〃	〃	3013G004	擁壁工	ブロック積擁壁工	2013.11	Ic	10	5	0	5	0	5	10	35	標準			
140	〃	〃	3013G005	擁壁工	コンクリート擁壁工	2013.11	Ic	10	5	0	5	0	5	10	35	標準			
141	〃	〃	3013G006	擁壁工	ブロック積擁壁工	2013.11	Ia	0	5	0	5	0	5	10	25	標準			
142	〃	〃	3013G007	擁壁工	混合擁壁工	2013.11	Ic	10	5	0	5	0	5	10	35	標準			
143	その他	【3124】今別府・池ノ尾線	3015A001	切土のり面	モルタル吹付工	2013.12	Ic	10	5	0	5	5	5	0	30	標準			
144	〃	〃	3015G001	擁壁工	ブロック積擁壁工	2013.12	Ic	10	5	0	5	5	5	0	30	標準			
145	その他	【3125】池ノ尾・大平線	3016F001	盛土のり面	盛土工	2013.12	IIIa	30	5	0	5	5	5	0	50	最優先			
146	〃	〃	3016F002	盛土のり面	盛土工	2013.12	IIIa	30	5	0	5	5	5	0	50	最優先			
147	〃	〃	3016F003	盛土のり面	盛土工	2013.12	IIIb	35	5	0	5	5	5	0	55	最優先			
148	〃	〃	3016F004	盛土のり面	盛土工	2013.12	IIIa	30	5	0	5	5	5	0	50	最優先			
149	その他	【3206】角内・須志原線	3017B001	切土のり面	その他(岩石崩壊)	2013.12	IIb	20	10	0	0	5	5	0	40	優先			
150	その他	【3255】石瀬戸・大平山線	3014A001	切土のり面	その他(落石崩壊)	2013.11	IIa	15	5	0	5	5	5	0	35	標準			
151	〃	〃	3014G001	擁壁工	混合擁壁工	2013.11	IIb	20	5	0	5	5	5	0	40	優先			
152	〃	〃	3014G002	擁壁工	混合擁壁工	2013.11	Ia	0	5	0	5	5	5	0	20	標準			
153	〃	〃	3014G003	擁壁工	ブロック積擁壁工	2013.11	Ia	0	5	0	5	5	5	0	20	標準			
154	その他	【3121】立神・皇柳線	3019A001	切土のり面	その他(落石崩壊)	2022.11	IIb	20	0	0	10	5	5	10	50	最優先	対策中		

5-2 記録

点検および補修等を行った際には、その内容と実施時期等の履歴を確実に記録し、これを保管します。

5-3 対策費用

個々の法面等の健全性、第三者等への被害の深刻度(緊急性)および路線の重要性を考慮した効率的な措置を行います。また、道路法面・構造物の修繕工事に関する予算は、社会資本整備総合交付金事業、緊急自然災害防止対策事業債等を計画的に活用し、予算の平準化に配慮した各年度の対策費用を決定します。